

発言順	議員名	学校名	質問事項	質問要旨	回答要旨	再質問	再質問の回答
1	青野 桃子 高市 真未 山下 舞斗	愛宕中学校	学校教育環境の充実について	<ul style="list-style-type: none"> ・統廃合により、小中学校の数が少なくなった結果、先生の数も少なくなれば、これまでのような少人数指導授業をしていただけるのか。 ・10年、20年後に八幡浜市にはいくつの小中学校があるのでしょうか。 ・統廃合により使われなくなった学校はどうなるのでしょうか。 ・夏場の教室内における熱中症対策について、どのようにお考えですか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・統合が進めば、市全体の学級数が減り、先生の数も減ることになるが、先生の数については、学級の数によって決められるため、統合後のそれぞれの学校単位で見れば、先生の増につながり、数学や英語などで行っている少人数授業も、1学級の生徒数が増えれば実施可能となります。 ・小学校では7～8校、中学校では3校程度に減ってくるのではないかと考えています。 ・民間企業への賃貸など色々な事例があるが、地域住民が集い交流する場所として、地域の活性化、発展のために活用されるのが望ましいと考えており、該当する地域関係者の要望を伺ったうえで、地域住民のご理解のもと、市全体の利益につながる活用を行いたいと考えています。 ・経口補水液(OS-1)、体育館での大型扇風機、ミストシャワー(小学校)、製氷機(中学校)で対応していただきたい。エアコンの設置については、愛宕中規模で設置費用に3～4千万円、年間の電気代に100万年程度と多額の費用が必要であるため、今後の検討課題とさせていただきます。 		
			地元の食材・ゆるキャラと食育について	<ul style="list-style-type: none"> ・給食におけるご飯のときの牛乳の提供について、どのように考えておられるか。 ・ゆるキャラ『はまぼん』にあまり馴染みがないので、もっと親近感が沸くように、ちゃんぼんだけではなく、「食」についてのイベントを各学校で行ってほしい。 ・『かまワンちゃん』などのペットはどうなっているのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食の牛乳は、必要な栄養素の供給源として、成長期の皆さんにとって、欠かすことのできない重要な位置を占めており、食材費等も考えあわせると牛乳に代わる食材はありません。中には苦手な方もいらっしゃるかもしれませんが、ご飯のときも牛乳での給食を続けていきたいと思っています。 ・現在も対象となる子どもたちが興味・関心を持てるよう、学年に応じた内容の食育教室を行っていますが、『はまぼん』も時にはこの教室に参加してもらい、今以上に親近感を持ってもらえるようにしていきたいと考えています。 ・ゆるキャラの使命として、地元の皆さんに愛着を持っていただくことが第一と考えており、今後も「食」に関するイベントをはじめとして、地元で開催される催しに登場し、一人でも多くの方と触れ合いたいと考えています。 ・駅から「みなと」までの間の8箇所の石の案内看板の中に、『はまぼん』と『かまワンちゃん』が道案内をしています。また、カレンダーやお絵かき帳などのグッズも販売されていますが、今後も積極的にPRしていきたいと思っています。 		

八幡浜市制施行10周年 八幡浜市子ども議会 質問及び回答要旨

発言順	議員名	学校名	質問事項	質問要旨	回答要旨	再質問	再質問の回答
2	井上 亜美 山本 郷平	八代中学校	学校施設の改善について	<ul style="list-style-type: none"> ・新校舎の階段の不具合について、改善していただけないでしょうか。 ・新校舎の教室について、窓を外したりするなど、熱がこもらないような対策をとっているが、思うほど涼しくありません。熱中症になってもおかしくないような環境だと思しますので、改善していただけないでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・階段の踏板の角部分に想定した以上の力がかかり破損したものと思われませんが、早速、夏休み中に面取り工事を行うこととしました。使用した木材ならではの特性によるものもありますが、大切に使用していただきたいと思います。 ・設計を担当した建設課にも確認したところ、これまでの校舎に比べ、特別、構造的に暑いということはないのでは、と聞いています。以前にあった周りの木々が無くなったことなども暑さに影響しているかもしれません。学校とも相談して、暑さを乗り切る工夫を一緒に考えていきたいと思っています。 		
3	河野 萌 森田 剛史	八代中学校	道路状況の改善について	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者や自転車利用者の安全、交通事故防止の観点からも自転車専用道路の設置、歩道の幅を広げることが可能かどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車専用道路などの設置は、道路際に立っている建物の所有者から土地を購入し、建物などを取り壊した上で道路全体の幅を広げる必要があり、多額のお金と交渉の時間がかかることから、なかなか歩道を広げることができないのが現状です。早期に実現することは大変困難ですが、現在、八代中学校の部室裏の市道の道幅を広げる工事を進めているなど、できるところから一步一步、着実に整備していきたいと考えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての自転車専用道路の設置には何年ぐらいかかりますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できるところから検討していきたいと思っています。

八幡浜市制施行10周年 八幡浜市子ども議会 質問及び回答要旨

発言順	議員名	学校名	質問事項	質問要旨	回答要旨	再質問	再質問の回答
4	井上 桃華 玉 木 蘭	真穴中学校	住みやすく魅力ある町へ	<ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉施設と学校・保育園や幼稚園が相互につながりを持ち、色々な年代の人と交流が図れるような仕組みが作れば、お年寄りと触れ合う機会が増え、お年寄りがいきいきと生活できるようになるのではないのでしょうか。 ・真穴地区では、みかんアルバイトがやってくる時期は、人が増え、とても活気がある。このようなたくさんの方が訪れてもらえるような取り組みが増えると思いますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所や小中学校では、お年寄りを招いたり、施設を訪問するなど、それぞれの地域でお年寄りと交流を深めています。また、地区公民館では、三世代の運動会などを通して世代間の交流を図っています。世代を越えて人と人が交流することは、非常に大切なことだと思いますので、これらの取り組みにより、八幡浜市を思いやりのある笑顔あふれるまちにしたいと思います。 ・今年度から、地域活性化のための支援として、地域おこし協力隊を日土東地区に2名、大島地区に1名配置しています。また、地方創生の事業の一環として、旧舌田小学校を宿泊・合宿施設に改修し、労働力不足の解消だけでなく、農業後継者の結婚推進や移住の促進へとつなげていこうと考えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、地域おこし協力隊は何人ぐらい配置されるのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の状況もみながら、増やしていくことも検討していきたいと思います。
			サイクリングでの町の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・八幡浜市には美しい自然がたくさん残っており、多くの人を引きつける魅力があると思うが、多くの方が美しい八幡浜を自転車で走ってもらえるようなサイクリングコースの整備はできないでしょうか。 ・「みなっと」のような、自転車の利用者がもっと利用したくなるような休憩所等の整備ができないでしょうか。 ・佐田三崎半島～八幡浜～別府のような周遊コースも考えられるのではないのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県と市町が連携して、26のサイクリングコースを設定し、ブルーラインや案内板などの整備を順次進めています。そのコースの1つである「宇和海しおさいオレンジ輪道」には、真穴地区の海岸線が含まれています。また、八幡浜市と伊方町が連携し、16のコースを設定し、レンタサイクル事業を行うなどのサイクリング施策を推進しています。9月26日には、このコースを利用して、「サイクリング佐田岬2015」を約200人の参加で開催する予定です。 ・サイクリストの利便性向上のため、「なんよサイクルオアシス」の整備が県により進められており、市内では「みなっと」、「駅なか浜っ子産直市」、「ゆめみかん」の3施設が指定されています。また、同様のサービスを受けることが可能な「コンビニサイクルオアシス」も提携が進んでおり、市内で4店舗が指定されています。今後も、サイクリストの意見を聴きながら、随時対応したいと考えています。 ・現在、別府市、臼杵市と八幡浜市で、九州と四国、観光をメインに交流人口を増やそうという話し合いを行っているところです。ご提案の航路を活用した周遊ツアーも、実現できるように検討したいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩所等の内容について、どのようなものを考えていますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・柑橘など、八幡浜らしい物産の設置を検討していきたいと思います。
5	菊池 賢人 和家 由佳	双岩中学校	環境問題について	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年6月に、地域の方と一緒に県道・川清掃を起っているが、ごみの量はあまり変わっていません。先日も実施後の数日後には、新たな不法投棄がされました。このようなごみを減らしていくために、市ではどのような対策をしているのでしょうか。また、今後どのような対策を考えているのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・双岩地区の鳥越峠付近のごみの不法投棄は、残念ながら無くなってはいませんが、以前に比べれば確実に減ってきています。八幡浜市では、不法投棄防止の看板を立てたり、あまりにもひどい場所には監視カメラを設置しています。これらを多く設置するのも一つの方法ですが、不法投棄の現状を市民の皆さんに発信し、環境意識の高い市民を、一人でも増やしていくことが、市としての一番の対策だと考えています。 		

八幡浜市制施行10周年 八幡浜市子ども議会 質問及び回答要旨

発言順	議員名	学校名	質問事項	質問要旨	回答要旨	再質問	再質問の回答
6	浮田 ひなた 宇都宮 立樹 山本 隆太	松柏中学校	防災対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・主な公共の施設は、耐震化されていると思いますが、すべての公共施設が耐震化されているのでしょうか。 ・八幡浜市の隣には、伊方原子力発電所がありますが、もし、南海トラフ大震災が起こり、原発で事故が起こった場合、どのように避難するのでしょうか。 ・毎年、防災訓練に参加していますが、避難所での具体的な生活が見えてきません。市主催で「避難所生活講座」を開いていただいて、共同生活をする上でのポイントなどを教えてもらえないでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和56年以前に建てられた建物は、古い基準をもとに設計されているため、耐震性の劣っているものが多数ありますが、全ての建物の耐震補強工事を行うには、多大なお金と時間が必要となりますので、重要度や危険性を判断して、計画的に耐震補強工事を進めています。 ・避難経路は、大きく4方向に分かれて「愛媛県総合運動公園」を目指すことになります。このルートは現道を通り、渋滞を考慮に入れたシミュレーションを行い決定していますが、ある程度の渋滞は予測されます。そのため、大規模災害時の緊急輸送道路や広域避難路として、重要な役割を果たす地域高規格道路「大洲・八幡浜自動車道」の整備について、早期に大洲市の高速道路に繋がるよう、国に強く要望しています。 ・今年度より3か年事業で県が実施する「避難所運営リーダー育成研修」を、98の自主防災組織の皆さんなどに受講いただくこととしており、また、皆さんにも防災訓練などを通じて、避難所の運営や共同生活のポイントなどを学習してもらいたいと考えています。 		
7	今泉 七海 武氣 紗弥乃	保内中学校	保内町の交通機関について	<ul style="list-style-type: none"> ・交通機関を利用する方にとって、効率の良い利用ができるよう、バスの運行時間の見直しや増便を検討してはいかがでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自家用車の普及によりバスの利用者が減ったことに伴い、運賃収入等が減少し、バス会社の経営を維持するため、路線の廃止や減便を行った結果、現在のような利便性の良くないダイヤになっていると考えられます。人口が減少し、バス利用者の増加が見込めない中、私たちにできることはバスやタクシーをできるだけ上手に利用し、公共交通を維持していくことではないかと思います。八幡浜市では、高齢者や障がい者に公共交通機関で利用できる助成券を交付したり、すでにバス路線が廃止された地区と市街地を結ぶ「デマンド型乗合タクシー」を運行しています。これらの制度の今あるバス路線をうまく連携させて、より便利な移動手段の確保を図りたいと考えています。 		
			避難場所と避難経路について	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな子どもやお年寄りの方を含めて、みんなが安全に避難できる避難経路や避難場所の整備を行ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・海拔10m以上の高台にあり、さらに高い所に逃げることができる二段階避難が可能な「津波一時避難場所」として110箇所を指定しています。平成24、25年度には、約8,000万円をかけて「津波一時避難場所」と避難道90箇所に舗装や手すり、外灯、標識版を設置しました。今後の避難場所や避難経路の整備は、自主防災組織や地区から要望があれば、効果や必要性を考え、検討していきます。また、高齢者や障がい者など自力で避難することが困難な方の避難支援体制を早急に確保していかなければならないと考えています。 		

発言順	議員名	学校名	質問事項	質問要旨	回答要旨	再質問	再質問の回答
			少子化問題について	<p>・少子化問題を改善するために何が必要なのでしょう。子どもを産みやすい、育てやすい環境をつくるために、市として取り組んでいることや計画などを教えてください。</p> <p>・若者が八幡浜市に残りたい、住みたいと思えるような魅力あるまちづくりについての取り組みについて教えてください。</p>	<p>・少子化の原因は色々ありますが、晩婚化や未婚者が増えたことも原因の一つと考え、その対策として「八幡浜市縁結びコーディネーター事業」や「やわたはま婚活サポーター事業」を行い、出会いの場や結婚をしたいと思えるような雰囲気づくりをしています。また、子育てしやすい環境づくりとしては、0歳児から保育所で子どもを預かったり、保育時間の延長や未就園児の一時保育といった保育サービスの充実、小学校における放課後児童クラブの定員の増加などに取り組んでいます。</p> <p>・八幡浜市に若者が少ないのは、大学や専門学校を卒業した際に、当市での就職先が少ないために戻って来れない人が多くいることが原因だと思われます。「みかん」や「さかな」といった魅力ある産業がありますので、これらを大いに活用して働く場所を作っていきたいと考えています。若者が魅力を感じてもらえるような施設の整備も考えながら、生活するうえでの総合的な基盤整備を行い、若者だけでなく多くの人に八幡浜市に住み続けていきたいと思ってもらえるような、まちづくりをしていきたいと思えます。</p>		
8	津山 裕飛 山内 詠	保内中学校	医療体制の充実について	<p>・市立病院では、救急を要する患者を24時間体制で受け入れていただけるのでしょうか。</p> <p>・市立病院の医師の人数は増やしていただけるのでしょうか。</p> <p>・市立病院の看護師不足の対策はされているのでしょうか。</p>	<p>・医師は通常の診療に加え、24時間の救急業務なども手分けして行っており、肉体的にも精神的にも非常に負担が掛かっています。このような中、内科医の減少等により、さらなる医師の負担が増えることから、医師の負担軽減のため、救急の一部受入れを制限しています。受入れを24時間365日体制に戻すことは、現状の医師数では非常に困難で、当分の間は、現状の受入れ体制でお願いしたいと考えています。</p> <p>・平成17年度には38人いましたが、国の医師臨床研修制度が改正されたことが原因で年々減少し、現在22人となっています。医師確保の対策として、ホームページに求人広告を出したり、市民の知人等の医師に連絡を取ったり、医学部のある大学に医師派遣のお願いに行ったりしていますが、全国の病院で医師の数が不足しているため、医師の人数を増やすことはとても難しいのが現実です。平成30年度以降、「地域枠」での卒業生医師が配置される見込みですので、市立病院でも徐々に医師の数が増えるものと考えています。</p> <p>・現在進めている病院改築事業により、利用者の皆さまだけでなく、病院で働く職員にとっても、綺麗で働きやすい職場となり、医師・看護師確保につながると大いに期待しているところです。また、平成21年度から採用試験を年1回から年3回に、平成22年度から看護師等修学資金貸与制度により、看護師確保に努めています。そのほか、中高生を対象とした「夏期看護師体験」や離職した看護師の職場復帰を支援する「看護力再開発講習」を、新病院完成後には実施したいと考えています。</p>	<p>・平成30年度までの医師確保はどうなっているのでしょうか。</p>	<p>・現在行っている求人広告や大学医局への働きかけなど、粘り強くお願いしていきたいと思えます。</p>

八幡浜市制施行10周年 八幡浜市子ども議会 質問及び回答要旨

発言順	議員名	学校名	質問事項	質問要旨	回答要旨	再質問	再質問の回答
9	上 甲 愛 梨 中 岡 明 咲 子 山 本 喬 介	青石中学校	若者誘致施設について	<p>・なぜ北浜のテニスコートを壊して、温浴施設を作ることになったのでしょうか。</p> <p>・温浴施設も人気スポットとなりうる施設だと思いますが、若者を呼び込むためにも、若者向けの施設を作っていただけませんか。</p> <p>・更地となっているショッピング跡地を今後、どのように活用する予定なのでしょうか。</p> <p>・若者を八幡浜市に呼び込む工夫や対策を何か考えているのでしょうか。</p>	<p>・市内に温浴施設ができれば、これまで市外に出かけていた方が利用できるだけに留まらず、当市を訪れた市外の方が温泉を利用していただくことにより、長い時間当市に留まっていただけと考えたからです。また、北浜地区ということに関しては、この付近にあった1軒の銭湯が県道の拡幅工事に伴い、廃業されたため、この銭湯を利用していた皆さんが不便を受けることとなったため、その代替りの施設となるように考えたからです。</p> <p>・過去、八幡浜市にも映画館やファストフード店がありましたが、景気の低迷や人口減少により売上が減少し、閉店・撤退していきました。民間企業は、商売として成り立たない地域には出店しないだろうと思います。ショッピング跡地も民間の所有地で、今のところ、どのように活用されるかは分かりませんが、利益を得られる活用を考えられていると思います。市としては、若者を含め市民全員に望まれる活用を期待しています。スポーツ施設などの公共施設の建設においても、人口規模や税金で、その施設を維持していけるか慎重に考える必要があります。まずは人口流出の最大の課題である「働く場所」の確保について、市全体で考え、そのうえで若者向けのレジャー施設について、可能な限り立地に向けた努力をしていきたいと思っています。</p> <p>・現在、協議検討している八幡浜市版「総合戦略」により、多くの若者を当市に呼び込みたいと考えていますが、当市としては、仕事を増やすことを一番に考えていきたいと思っています。当市の人口減少の最大の要因は、高校卒業後、市外に就職する、また市外への進学後そのまま市外で就職する人が大多数であることです。地元企業が雇用を増やせるような産業振興策や、安定した所得が得られるような農業・漁業者の支援など、やる気のある後継者を呼び込む政策を実施していきたいと考えています。</p>		